

ぬまたフラウトやまほ



祈りと願いを込めて
平和の鐘を鳴らそう！IN NUMATA 2014
7月19日(土)

地元住民やユネスコ少年少女合唱団、ボーイスカウト沼田第1回の団員が、金剛院(坊新田町)など市内4箇所に集まり、ユネスコ提唱の「わたしの平和宣言」を全員で唱和し平和の鐘を鳴らしました。

このイベントは、県内で唯一沼田ユネスコ協会が実施し、今年で5回目になります。

白沢町みこしがお披露目
第21回白沢ふるさとまつり
7月20日(日)

恒例の白沢ふるさとまつりが、道の駅白沢おまつり広場で行われました。

今年は「白沢町みこし」が新調され、町内7地区から集結したみこしやまんどと共に渡御が行われ、威勢の良い掛け声が夏空に響き渡りました。

会場では、二荒太鼓の勇壮な演奏やカニレフアによるフラダンスが披露されたほか、地域特産物も提供され多くの観光客らでにぎわいました。

白沢町みこしは8月4日(月)の沼田まつりにも登場します。ご注目ください。



科学の不思議さや面白さに触れる機会をおもしろ科学教室

7月5日(土)

「真空ポンプを作って遊ぼう」をテーマに、薄根公民館で開かれたおもしろ科学教室では、真空状態での風船の変化などを実験しました。

同教室は、子どもたちへ自然の不思議さや面白さに触れる機会を拡大し、学習の楽しさを味わってもらうことを目的に、県内のさまざまな会場で開催されています。



新調された白沢町みこし



市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

YOROZU
よろずとーく 88
TALK

めつけるかい共同代表
真下 竜介さん
(馬喰町)
Ryusuke Mashimo

皆さんと一緒に、こつこつと
利根沼田の宝をめつけていきたいですね



「めつけるかい」は利根沼田に眠る魅力を発見するほか、よく知られる風景や観光名所などを新たな切り口で紹介しようとする沼田青年会議所のまちづくり事業として立ち上がった。

「地元のことでも、知らないことって意外と多いですね。それを私たちに紹介したい。それがこの会の始まりでした」

めつけるかいはフェイスブックを情報発信の軸に、穴場スポットの紹介やオリジナルツアーの開催やオリジナルツアーの開催を呼び掛けるなどの活動をしている。富岡製糸場の世界遺産認定を受けて開催した利根沼田絹遺産を巡るツアーでは、予想を超え多くの人が集まった。



利根沼田の湧き水についての報告会をするめつけるかいメンバー

「反響が嬉しかったですね。集まった人数もですが、会の趣旨『地域の魅力をめつける』が実現できました。力になりますよ」

活躍が目される同会は、利根沼田の有志20人程で構成されている。真下さんは運営のポイントをこう話してくれた。

「楽しみながら気軽にこつこつとですね。私たちは有志の集まりなので、誰かに負担が偏るようなことはしたくありません。長続きしないですけれど、楽な気持ちで皆さんと楽しんでます」

多少の負担も楽しむことで軽減するという。真下さんはやりがいについても話してくれた。

「教科書のような回答ですが、この地域が好きだし、会員も含めて集まってくれる人たちが好きなんです。これからも変わらずに、皆さんとこつこつ地域の宝をめつけていきたいですね」

われら いきいき サークル 248

福幸市実行委員会(委員数29人)

代表者 **中島 庸一**さん
(連絡先 ☎ 2005)



「いまだからこそ、つながろう」を合言葉に、商店街を新たなコミュニティの場として再生しようと平成19年9月に発足しました。主な活動は、気仙沼の物産販売をはじめ、地元農産物、地元商店の出店による年3回の福幸市、まちなか歴史探訪、市民公開講座などの開催です。現在、南中や利根実の生徒、若者ボランティアグループ「沼人会」など、大勢の皆さんに協力いただきながら地域の連携を目指し日々励んでいます。福幸市出店者も募集中です。